

科目名: 現代企業にみる日本経済		科目コード	EH48
科目主査: 欧陽 菲		単位	2
担当講師: 欧陽 菲、宮本 博文		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>日本経済の「成長の奇跡」を引き起こした、終身雇用や年功序列といった日本企業の独自性がその優位性を失いかけています。本科目では、企業の形態、組織構造、経営の仕組み、戦略、政府との関係などの様々な観点から、現代の企業とは何かについて明らかにしていきます。また、企業の社会的責任や国際化への対応などの今日的課題についても学習します。特に国際化については、成長著しいアジア市場が隣にあるというメリットを活かして、日本企業が発展する可能性について考察します。</p>			
履修の前提となる科目	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	科目名: 経営学に関する基礎科目	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングしておきましょう。		
テキスト	『現代企業にみる日本経済』齊藤 聡, 産業能率大学出版部, 2012年		

この科目の到達目標	<p>①テキストに記載されている専門用語を説明でき、現代企業の仕組みと主な理論を理解できる。</p> <p>②現代企業の経営課題に関心を持ち、課題を設定して、その解決に向けた方策を考えることができる。</p>
成績評価の方法	<p>出席を前提に、授業態度と理解度を重視します。1) 授業態度: この科目は考えることが大事なので、授業時間中にとりどころ質問を提示し、チャットを通じてディスカッションを行います。ディスカッション時の発言や質疑応答の参画度合いを通じて、授業態度を確認します。2) 理解度: 1日目の課題の理解度を評価します。</p> <p>最終試験は、客観式問題と論述問題(2問)を出題し、概念や理論を実践的に理解できるかを評価のポイントとします。</p>
事後学習	<p>学んだ専門知識を活用しながら、現代企業が存続するための国際環境、政府の政策、企業自身の経営問題に至る諸要因について、より深い理解ができるように、関連する学習をし続けることを期待しています。</p>
事後学習の参考文献	<p>『日本経済入門』藤井 彰夫, 日経文庫, 2018年</p> <p>『日本経済新聞』『日経ビジネス』などのビジネス雑誌</p>
スクーリング受講時に用意するもの	<p><input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具</p>